

試験結果報告書

島根県松江市八雲町熊野939番地
株式会社 ケイナン 御中

島根県出雲市斐川町莊原2750-5
株式会社ツチケン
島根県東部建設試験センター
TEL (0853)73-7137
FAX (0853)73-7138

ご依頼いただいた下記の試験結果を別紙の通り報告致します。

記

種類及び呼び名：再生砕石RC-40(砕石90%・コンクリート10%)

産地：島根県松江市八雲町熊野地内

試験内容

骨材のふるい分け試験

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

土の液性限界・塑性限界試験

CBR試験

備考) 本書は、受領した試料の試験結果報告書です。

骨材試験結果一覧表	管理番号 221096
-----------	-------------

依頼者 株式会社 ケイナン

整理年月日 令和5年4月1日

産地 島根県松江市八雲町熊野地内

整理担当者 津田 和彦



試験名		種類及び呼び名	再生砕石RC-40 (砕石90%・コンクリート10%)		
JIS A 1102	ふるい分け試験	粗粒率 (F.M)	6.39		
JIS A 1103	微粒分量試験	微粒分量 %	-		
JIS A 1104	単位容積質量試験	単位容積質量 kg/ℓ	-		
		実積率 %	-		
JIS A 1105	有機不純物試験	標準色に比較して	-		
JIS A 1110	密度及び吸水率試験	表乾密度 g/cm ³	-		
		絶乾密度 g/cm ³	-		
		吸水率 %	-		
JIS A 1121	すりへり試験	すりへり減量 %	15.9		
JIS A 1122	安定性試験	安定性損失量 %	-		
JIS A 1137	粘土塊量試験	粘土塊量 %	-		
JIS A 1205	液性塑性限界試験	塑性指数 PI	NP		
JIS A 1211	C B R 試験	試料準備の方法	空気乾燥法		
		^(注1) 最適含水比 %	7.4		
		^(注1) 最大乾燥密度 g/cm ³	2.012		
		突固め回数	17回	42回	92回
		膨張比 re %	0.003	0.003	0.005
		貫入試験後含水比 %	8.1	7.8	7.8
		平均 C B R %	31.6	58.4	104.6
		^(注2) 修正 C B R %	67.6		

特記事項

注1)最適含水比及び最大乾燥密度は、JIS A 1210のE-b法により求めた。

注2)修正CBRは締固め度95%と所定の締固め回数における平均CBRより求めた。(舗装調査 試験法便覧)

JIS A 1102		骨材のふるい分け試験			221096	
調査件名 材料試験			試験年月日 令和5年3月8日			
種類及び呼び名 再生砕石RC-40(砕石90%・コンクリート10%)			試験者 黒崎 淳			
試料の種類		再生クラッシュラン	採取年月日		令和5年3月1日	
試料の産地		島根県松江市八雲町熊野地内	採取者		株式会社 ケイナン	
全乾燥試料質量		9780.8 g	ふるい分け方法		手動+機械	
ふるい目の開き (mm)	各ふるいにとどまる質量 (累加) (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)	
106						
75						
63						
53	0.0	0.0	0	0	100	
37.5	97.8	97.8	1	1	99	
31.5	880.3	782.5	8	9	91	
26.5	1564.9	684.6	7	16	84	
19.0	3448.5	1883.6	18	34	66	
16.0	4391.7	943.2	10	44	56	
9.5	5956.6	1564.9	16	60	40	
4.75	7423.7	1467.1	15	75	25	
2.36	8597.4	1173.7	12	87	13	
1.18	9056.4	459.0	5	92	8	
0.6	9349.9	293.5	3	95	5	
0.3	9545.5	195.6	2	97	3	
0.15	9653.0	107.5	1	98	2	
0.075	9724.0	71.0	1	99	1	
以下	9780.8	56.8	1	100	0	
計	9780.8	9780.8	100			
粗粒率 (F . M)				6.39		
<粒度加積曲線図>						
備考 JIS A 5001 表2の規定による						

JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験	221096
------------	------------------------	--------

調査名・目的	材料試験		
種類及び呼び名	再生砕石RC-40(砕石90%・コンクリート10%)	試験者	黒崎 淳
産地	島根県松江市八雲町熊野地内	試験場所	島根県東部建設試験センター
採取者	株式会社 ケイナン	試験年月日	令和 5年 3月 16日
採取年月日	令和 5年 3月 1日	玉の数(個)	12
最大寸法(mm)	40	回転速度(回/分)	33
粒度区分	A	回転数(回)	500
		鋼球質量	4982

試験日の状態	室温(℃)	湿度(%)	水温(℃)	乾燥温度(℃)
	21	45		105

記事	
----	--

ふるい分け試験			試験前の試料の質量(g)
とどまるふるい(mm)	通るふるい(mm)	各群の質量分率(%)	
-	2.5	13	
2.5	5	12	
5	10	15	
10	15	16	1251
15	20	10	1250
20	25	18	1251
25	40	15	1251
40	50	1	
50	60		
60	80		
合計		100	① 5003
② 試験後, 1.7mmふるいとどまった試料の乾燥質量(g)			4208
③ すりへり損失質量 ① - ②(g)			795
④ すりへり減量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)			15.9

備考:

調査名・目的 材料試験

試験年月日 令和 5年 3月 28日

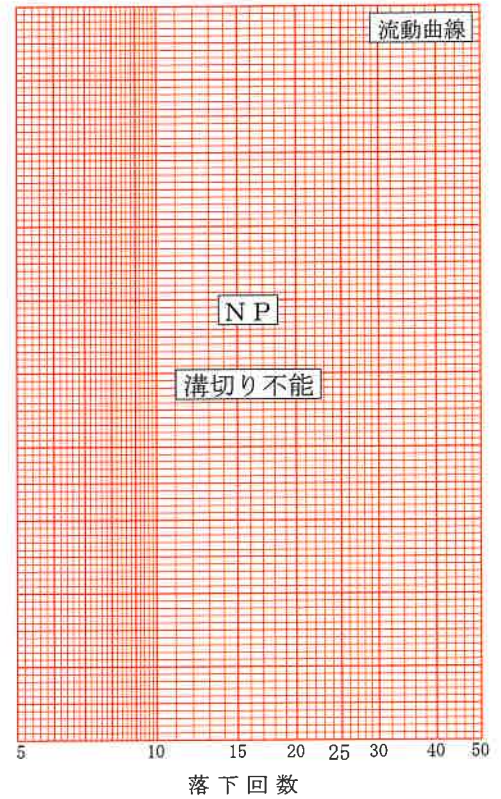
試料の産地 島根県松江市八雲町熊野地内

試験者 土江 真紀



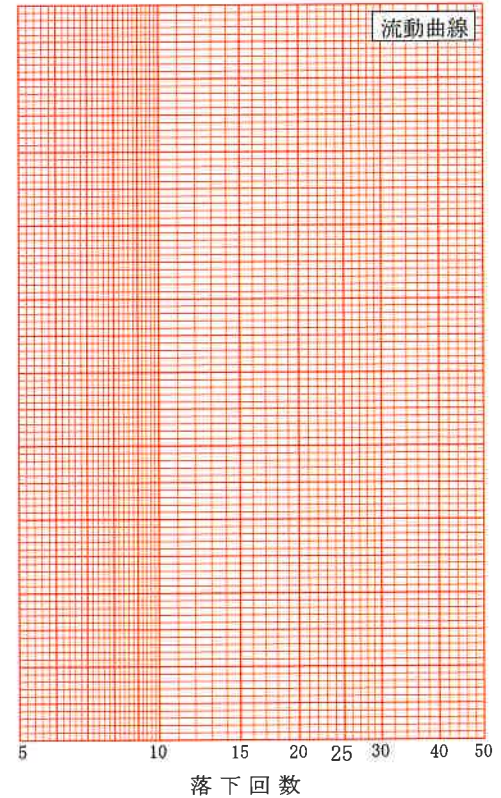
種類及び呼び名		再生砕石RC-40(砕石90%・コンクリート10%)	
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	w %		
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	w %		
塑性限界試験 ヒモ状にならず試験不能			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	w %		
液性限界 w_L %		塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p
NP		NP	NP

(%)
w
比
水
含



試料番号 (深さ)			
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	w %		
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	w %		
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	w %		
液性限界 w_L %		塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p

(%)
w
比
水
含



特記事項

修正 C B R 試 験

221096

調査名・目的 材料試験

試験年月日 令和 5年 4月 1日

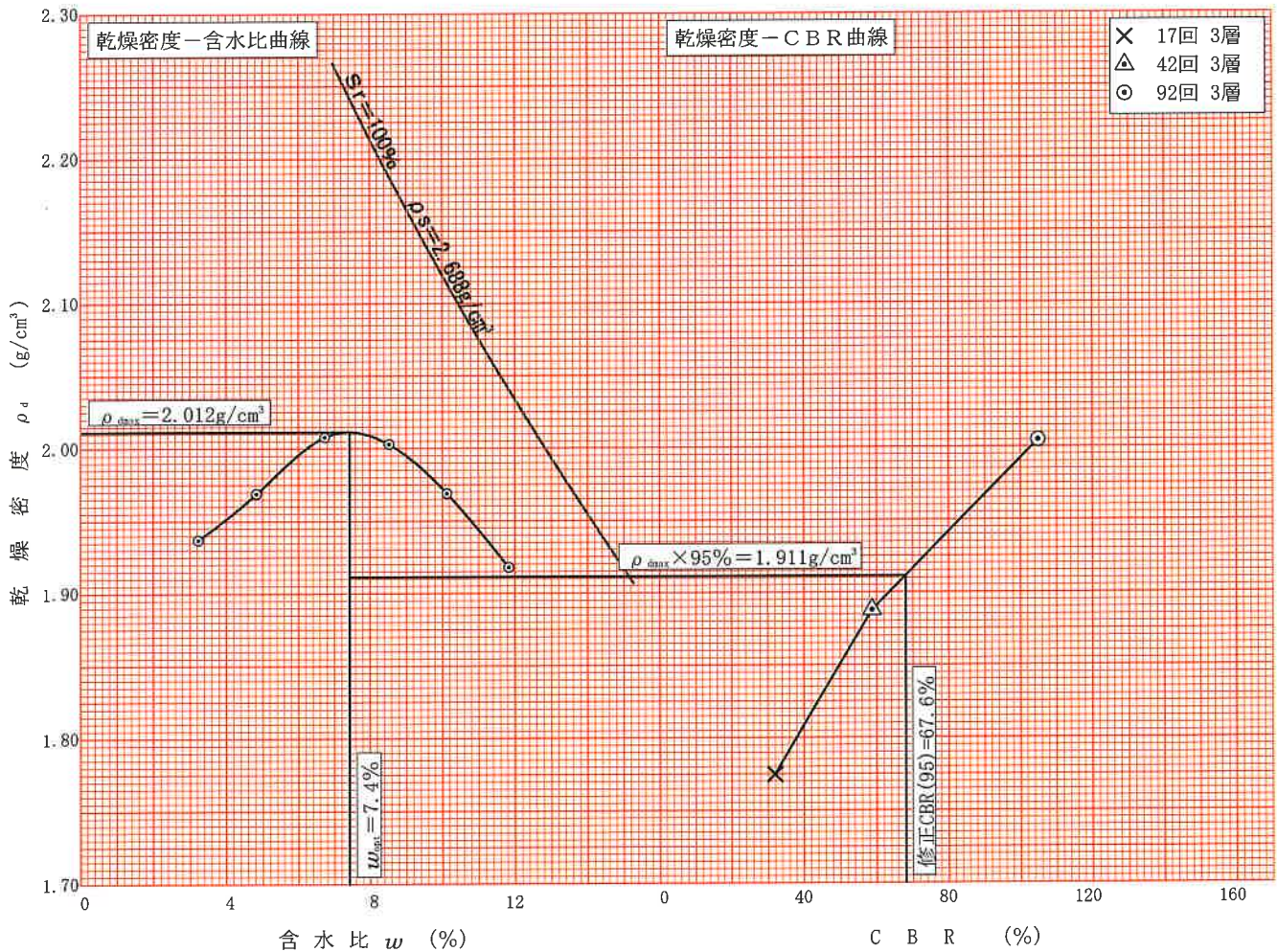
試料の産地 島根県松江市八雲町熊野地内

試験者 津田 和宏

種類及び呼び名 再生砕石RC-40(砕石90%・コンクリート10%)

試料の種類 再生クラッシュラン

突固め回数	回/層	17 (3 層)			42 (3 層)			92 (3 層)		
供試体 No.		1	2	3	1	2	3	1	2	3
乾燥密度 ρ_d g/cm ³		1.774	1.776		1.883	1.892		2.011	1.999	
平均値 ρ_d g/cm ³		1.775			1.888			2.005		
貫入量2.5mmにおけるCBR %		22.6	26.1		42.8	47.4		80.4	82.5	
平均値 %		24.4			45.1			81.5		
貫入量5.0mmにおけるCBR %		30.0	33.2		56.8	59.9		106.8	102.4	
平均値 %		31.6			58.4			104.6		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³			2.012			締固め度 %		
		最適含水比 w_{opt} %			7.4			修正 C B R %		
								95		
								67.6		



特記事項

・突固めによる土の締固め試験結果

測定番号	1	2	3	4	5	6
湿潤密度 (g/cm ³)	1.999	2.064	2.143	2.173	2.168	2.144
乾燥密度 (g/cm ³)	1.937	1.969	2.008	2.003	1.969	1.918
含水比 (%)	3.2	4.8	6.7	8.5	10.1	11.8

・突固め条件

モールド内径	15cm
ランマー質量	4.5kg
落下高さ	45cm
突固め回数/層	92回/3層

修正CBRは締固め度95%と所定の締固め回数における平均CBRより求めた。(舗装調査 試験法便覧)